

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC)
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://suic.shinshu-u.ac.jp/obog/newsletter/suicnewsletter_vol.17.pdf

Vol. 17 — 2008. 12. 18 —

■ □ 信州大学国際交流センター ニュースレター □ ■

Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

■ 発行：信州大学国際交流センター (SUIC)
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

▼ △ 今号のもくじ △ ▼

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * スタッフ近況報告 (栗林先生)
- * 信州生活ちょっとコラム (日本の12月)

■ □

□ ごあいさつ

☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。°

8月下旬に先号 (Vol. 16) をお送りして、あつと言う間に12月、本当に早いものですね。栗、サンマ、新米、きのこなどなど秋ならではの食材をを美味しくいただき、ハイキングに出かけ紅葉に感激し、とほんの少し前には秋を満喫していたような感じがしますが、いよいよ寒くなってきました。ついに気温も0度を下回りました！冬の到来です。皆様、お元気ですか？
いかがお過ごしですか？近況などお聞かせいただけましたらうれしいです。

■ □

□ JASSO 平成21年度帰国外国人留学生短期研究制度について

▼

JASSO (日本学生支援機構) による帰国留学生フォローアップ事業として、「帰国外国人留学生短期研究制度」があります。現在、母国において教育、学術研究、行政分野で研究・業務に従事している帰国留学生に対し、日本の大学の研究者と共に短期研究を行う機会を提供しています。
平成21年度分 (2009年度分) 申請締切は、2009年2月6日です！
詳細は、JASSOのウェブサイトでご確認ください。

<http://www.jasso.go.jp/exchange/tanken.html>

■ □

□ 最近の出来事

▼

9月～11月のトピックスです！

－9月－

1) 工学部電気電子工学科、地域共同研究センター長三浦義正教授が、日本磁気学界から学会賞を受賞しました。

学会賞とは、特別な貢献に対し贈られる同学会最高の賞で、「高密度磁気記録の研究・実用化および産官学連携の推進」の貢献により受賞しました。

また、工学系研究科電気電子工学専攻修士課程を修了された水田創さんが、同じく日本磁気学界から学術奨励賞 (内山賞) を受賞しました。この賞は、35歳以下の若手研究者を対象とするもので、水田さんの論文、「携帯電話用CoFeB磁性薄膜方向性結合器の大振幅信号伝送特性」に対し贈られたものです。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01489.htm>
<http://www.wdc-jp.com/msj/intro/award.html>

2) 農学部応用生命科学科の後藤哲久教授が、AOAC INTERNATIONALのFELLOW

(学会の特別研究員)に選出されました。

AOAC INTERNATIONALは、食品、医薬品、肥・飼料、化粧品等の分析法、微生物検出・同定法にかかわる技術者・研究者が新規技術の情報交換をしたり、互いの分析法を検証し合う場です。

この度の受賞は、後藤教授の同学会における活動及び多大な貢献に対し贈られたもので、大変な名誉であり日本人としては初めて選出されました。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01627.htm>

<http://www.aoac.org/awards/awards.html>

3) 繊維学部3年生の加藤新さんが、青年海外協力隊員としてアフリカのナミビアに派遣されます。

加藤さんは、ナミビアの公立カプリビ中学で2年間物理を教えます。

現在は、英語の特訓中、12月末に現地へ向けて出発する予定です。

以下は加藤さんのコメントです。「信州大学から在学生在が派遣されるのは初めてと聞いています。1年のときから参加していたボルネット(信大のボランティアサークル)での活動や繊維学部に行ってから地域活動などを評価されての採用だそうです。信州大学に来たからこそその体験と感謝しています。後輩たちにも道を開くつもりで頑張ってきます。2年後復学したときに恩返しできるものを持って帰りたいです」

<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01496.htm>

-10月-

4) 「池田国際交流ふれあい教室」が開催されました。

池田町は、松本市の北西、車で約30分。アルプスの眺望が素晴らしいです。留学生10人(出身国:中国、韓国、ベナン)が参加しました。各国の料理をつくり、またフラワーアレンジメントにも挑戦しました。

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kokusai/ouen/2008/iked2008/index.html>

5) 経済学部創立30周年記念行事が開催されました。

来賓の皆様、卒業生の皆様をお迎えし、式典、記念講演、シンポジウムが行われました。記念講演は、長野県経営者協会の安川英昭会長から「長野県経済社会の行方と産学連携」をテーマにお話を頂きました。その後「卒業生OBからみた30年史」として、シンポジウムが催されました。

引き続き、松本市内のホテルにて祝賀会がありました。

<http://www.econ.shinshu-u.ac.jp/topics/i081012/i081012.html>

6) 人文学部にて「信州大学国際シンポジウム2008 新たな信州とフランス語圏の文化交流 歴史をさかのぼり未来へ向けて」が開催されました。

午前中には、フランスのラ・ロッシュ大学、フランス国立東洋言語文化研究所、ベルギーのカトリック大学ルーバンから招聘した講師3名による講演があり、午後にも講演やパネルディスカッションが催されました。2日目は、蓼科のマリー・ローランサン美術館や穂高の碌山美術館を巡るツアーがありました。

<http://fan.shinshu-u.ac.jp/2008/10/001453.html>

7) 繊維学部にてグローバルCOE 国際特別講演会が開催されました。

韓国の建国大学より講師として、Prof. Moon Hwo Seo をお招きし、「Washing Mechanism in Front Loading Laundry with Steam Ejection」という演題で講演していただきました。

また本学グローバルCOEとのジョイントという形で、中国の浙江理工大学においてInternational Conference on Advanced Textile Materials & Manufacturing Technology が開催されました。

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/tagblocks/faculty/news/event/0000000238.html>

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/tagblocks/faculty/news/event/0000000240.html>

-11月-

8) 第43回銀嶺祭が、11/1~3に開催されました。今年のテーマは「安らぎ自然への恩返し」でした。

例年どおり模擬店がずらりと並び、売る人買う人、不思議な装いの学生、市民の皆様方で、大にぎわいでした。
繊維学部 東雲祭、工学部 光芒祭、農学部 落葉松祭、教育学部まほろば祭も、10月中~12月にかけて開催されました。

9) 農学部の名誉教授 熊代克巳先生が、瑞宝中綬章を受賞しました。

熊代名誉教授は、果樹園芸学の分野で多くの難問に取り組み、特に二十世紀ナシの防除対策の確立に貢献したこと等が評価されました。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01629.htm>

10) 理学部物理科学科の宮丸文章助教が、The Terahertz Focus Groupより「The 2nd THz Prize」を受賞しました。

Thz Prizeは、テラヘルツ光研究領域研究者の優れた研究を評価、奨励することを目的として The Terahertz Focus Groupにより制定された賞です。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01643.htm>

1 1) 医学系研究科保健学専攻修士2年の阿部雅仁さんが、日本電気泳動学会総会にて学会奨励賞を受賞しました。

阿部さんの講演発表、「総ビリルビン測定に影響を及ぼすmonoclonalIgM」が高く評価されました。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01659.htm>

1 2) 医学系研究科臓器発生制御医学講座の新藤優桂研究員が、第31回日本高血圧学会総会から、Young Investigator's Award 2008を受賞しました。

新藤研究員の発表「GPCR modulator protein RAMP2 is essential for angiogenesis and vascular integrity」に対し贈られたものです。

1 3) 科学雑誌「Edible Wild Plants of Bhutan」の刊行を記念して、農学部国際シンポジウム 2008が、11月22日に開催されました。テーマは、「持続的な森林との共生」-ブータン王国における野生植物の食用利用-でした。まずは、ブータン王国農業省RNR研究所の2名の研究院による基調講演があり、午後にも農学部の松島准教授、国立科学博物館植物研究部・筑波実験植物園の松本研究主幹、農業生物資源研究所ジーンバンクの奥泉主任研究による講演がありました。

★

スタッフ近況報告 ～ 栗林先生 (国際交流センター非常勤講師)

★

大学キャンパスより見える北アルプスが、今年も雪化粧し始めました。いよいよ、冬の到来です。

さて、私は昨年度後期よりお世話になっております、栗林恭子と申します。留学生の皆さん、そしてOB、OGのみなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんは「一期一会」という言葉を知っていますか。茶道に由来する言葉で、「一生に一度しかない出会い。この出会った一瞬を大切に思い、相手と接しましょう」といった意味です。

私は、大学を卒業してから4年間、新聞記者をしていました。毎日いろいろな人に会って話を聞き、それを記事にする仕事です。ですから、毎日「一期一会」の縁を感じながら仕事をしていました。(でも実際は、時間に追われ、そこまで感慨に浸ることはあまりありませんでしたが・・・)。そんな人との出会いの中で、地域に暮らす外国人ともお話をすることが、何度もありました。が、日本語が流暢な方はともかく、滞在年数が短く、あまり日本語が話せない方とは、うまくコミュニケーションがとれず、結局肝心な話も聞けないまま時間ばかりが過ぎていく・・・ということが、よくありました。

「彼らともっと話したい!」そんな気持ちが強くなり、ぼちぼちと英語の勉強を始めると同時に、学生時代に将来の職業として脳裏に浮かびながらも諦めた、日本語教師への思いが膨らみ始めたのです。まさに、地域に暮らす外国人の方々との「一期一会」の縁によって導かれました。

みなさんもこれから、何気ない毎日の中で、自分の一生を左右するような出来事、そして人との出会いがあるかもしれません。とかく単調になりがちな日常生活。素敵なお会いがいつあるのか、ワクワクしながら毎日を過ごせたらとても素敵ですね!

■□

□ 信大NOW

50号までは、掲載内容をURLと共に紹介して来ましたが、51号以降は信大のウェブサイトにてアップされていないため省略いたします。

★

信州生活ちょっとコラム (生活編 -日本の12月-)

★

▼

皆様の国では、12月とはどのような月ですか?日本の12月といえば、まずは忘年会。友人同士で、職場で、趣味の集まりの会でなどなど、5つも6つも出席する人もいれば、かなり気合の入った芸を披露する人(芸能人のモノマネが多い、衣装やカツラを用意し、何度も練習を重ねるらしい)もいます。人それぞれですが、楽しく飲んで食べて歌っておしゃべりすることが忘年会です。

下旬までには年賀状を書いて投函し、学校や仕事が休みに入ると、いよいよ家族総出で大掃除です!家中ピカピカにきれいにします。(気温-5度みたいな日の窓拭きはつらいです...)同時に、年末年始用の特別なお料理を用意し、玄関などに、縁起がいいとされている松や竹などを飾り付けると、これで準備OK!と、だいたいこんな感じでしょうか?

お国によっては新年は2月頃だったり、真夏だったりですね。それぞれ、どのような年末～年始をお迎えになるのでしょうか?ともあれ、2009年が、

よい年でありますように！

=====修了者データベース登録のお願い=====

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。
まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力ください。
また、このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからできます。

http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/isc/regi_form.html

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：河野
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-2865 / Fax: 0263-37-2181
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

- ・ 各種お問い合わせ
 - ・ 配信停止希望
 - ・ メールアドレスの変更のご連絡
 - ・ 情報掲載のご希望
 - ・ ご意見、ご感想 ……など
-